

## 令和5年度第1回寝屋川市男女共同参画審議会 会議録（案）

日 時：令和5年6月12日（月）午前10時00分～12時00分

場 所：寝屋川市役所議会棟5階第二委員会室

出席委員：大束委員長、藤田委員、森川委員、濱田委員、古田委員、武田委員、  
榎並委員、下田委員、鈴木委員、荒木委員、橋本委員  
（欠席：林田副委員長、蔵本委員）

事務局：危機管理部人権・男女共同参画課 林部長兼課長、木場係長、  
井上、野口

○（委員の紹介）

○委員長 議題1「第5期ねやがわ男女共同参画プランの令和4年度実績について」管理シートの取組実績、課題及び改善点について、事務局説明願います。

○事務局 管理シートの表紙（記入例）に、この管理シートの「評価の目安」をA、B、C、Dの四段階の評価で選択するようその目安を記載しています。その評価につきましては、令和4年度第4回の審議会で、改定案を提示、その内容を審議し決定した改訂版が、今回の評価の目安です。参考ですが、前回との違いを確認のため照会しておきますと、三段階評価を四段階評価に改定し、A評価は、達成度80%以上から75%以上に、B評価は、達成度40～80%から50～75%に、C評価は、40%未満から25～50%に、D評価は、改に設けまして25%未満に改定いたしました。

管理シートは、記入例を除き28ページからとなり、具体的取組として77の取組内容を記載しています。それらの具体的取組に対して各所管課に割振りを

しており、117の所管事業の構成となっております。その117の所管事業に年度目標を設定していただいております目標に対し、その取組実績・評価・課題・改善点を記入していただいております。

評価としましては、昨年度と「評価の目安」を改定している違いもございます。参考までに昨年度の令和3年度実績と令和4年度実績を比較しますと、令和3年度のA評価は104で、令和4年度のA評価は77となっております、27減少しております。令和3年度のB評価は12で、令和4年度は39となっております、27増加しております。C評価は昨年度0に対して、令和4年度は1件C評価がございました。D評価はございません。

評価から見ますと、改定した影響は少なからず生じているのではと思っております。評価のポイントは、各所管課の共通認識として、Aの評価としては、年度目標どおり取組まれており、課題や改善点も踏まえた取組の効果が得られている。また、発展的効果や事業拡大等の取組実績がある場合などの評価となります。例えば、新規事業を導入した。新しいサービスを提供したなどです。Bの評価としては、年度目標どおり取組まれており、概ね効果は得られたものの、改善点を踏まえてもまだまだ課題が残っている状況にあり、例年と同等の効果が得られたなどの評価となります。例えば、昨年度と同様の継続的な取組を行った、リーフレットの配架や周知等の単なる情報提供に努める事業などがそれにあたります。Cの評価としては、年度目標どおり事業としては取組まれているものの、効果があまり見られない状況の評価となります。

例えば、事業には取組んだものの、参加者がおらず効果が得られなかったなどとなります。Dの評価としては、記載のコメントのとおり、未着手や事業の廃止をした場合となります。以上のポイントも踏まえて、各所管課として

評価をしております。以上でございます。

○委員長　ただいま議題1についての説明がありましたが、私の方から、この案件の進め方について、再度、ご提案させていただきます。事務局からの「令和4年度取組実績」について説明を受けましたが、一人ひとり自由に意見を述べることも大事ではありますが、より意見がまとまり反映できるように、事前にお知らせをさせていただいておりますとおり、2つのグループに分かれて意見を出し合っただけだったと思いますので、皆さまよろしくお願ひします。

○（各グループに分かれて各自意見記入）

○（各グループ内で討論）

○委員長　それでは、各グループ報告をお願いします。

#### ○Aグループ

○委員　まず、全体的な部分を発表させていただきます。そもそも、全体として課題、改善点について、男女共同参画の視点というものがあのかどうかというのが非常に疑問だなと思っております。通常の仕事の課題と改善点かなという書き方の部署が多かったのも、その辺がそれぞれの課に、その旨が伝わってるのかなというところもあるので、その辺はまた事務局にお伺いできたらと思ひます。また、それぞれの取組を正しく分析をされてるのか、分析をした上でそれを改善点と挙げ、これからの課題としているのかどうか、いわゆるつながりができているのかどうかというのも非常に疑問です。また、どうしても、できたかできていないかの評価になってしまっております。できたかできていないかの評価になると、これが何故A評価なのかという評価も非常に多く、それを踏まえると、も

しかしたら客観的評価をしたほうがいいんじゃないかということです。例えば審議会ですらそれを評価してみるとかというのもどうかなどという部分があります。

D評価が必要ではないのかという意見も出ております。

あとは、取組実績を書いていたんですけども、その中でここは絶対に男女比必要なんじゃない。例えば、男性の子育て参加であるとか、そういうところについて男女比が書いてなければお父さんが来てるのか、お母さんが来てるのか、一体誰が来てるのかという部分が分からないというのがあるので、そのあたりもしっかりと各課共通でやっていただいたらいいのではと思います。

41番、74番ですが、改善点がない、となってるんですが、本当にそうなのか。さらに改善点は、これからこうしますよという未来系のはずであるのにもかかわらず、過去形になっている。

あと、28番の男性介護者交流会延べ人数が3人でA評価となると、どれもこれも全部取組Aになるのではないかという話になるのではないかと考えております。

次に防災、非常に防災って大事な取組のはずにもかかわらず、何をやっているのかがよく分かりません。防災で、防災訓練と書いていますが、一体どのような防災訓練を行ったのか、参加人数は何人なのか全然把握できません。内閣府でも女性の視点に立った、と言われております。女性の視点に立つということは、障がい者であったり、LGBTQ等の視点にも立つことにつながっていくので、そのあたりは、どうしてるのかなという部分です。

多くの委員から意見があったものと、非常に男性がまだまだ多

くて女性が少ないという点についてです。今、中学生の教頭12人中0人というお話も聞きました。担当課では、このことも十分に把握されてるにもかかわらず、全然次につながる一手を打っていないというのも問題じゃないかなと思います。

○委員 学童の取組って全部A評価になっていますが、共働きでこのまま今の状態で働き続けることができるのか。保育園から学童期に変わるとき、申し込んだ人全員学童に入れるのかというところで、入れない人がおそらくいると思います。ここのニーズを捉えているのかというのがそういうところに当たるとと思います。

今の学童は週5で働いていないと申し込めない、週5で働くってほぼ正社員として働くということなのかなと。仮に学童に入ったとしても、パートの再開はまず無理です。子どもが小学校に夏休みになってしまうと働きに出れないのでというところ、そのあたりの見直しはされているのか、ニーズの確認が必要ではないかと思います。本当にそれだけでいけているのか、また平日はそれで学童預けることは可能ですが、例えば個人で事業をされていて、どうしても土日仕事をしたいというお父さん、お母さん、両方ともそういう場合もあり、なかなか自分の働きたいように、仕事として続けられるかというところで、どうしてもまだ壁があるのではないかと思います。セミナーに関して様々なセミナーを開講しておりますが、そのセミナーを開講してどうつなげていきたいのかがいまいち見えてきません。以上です。

#### ○Bグループ

○委員 昨年度、委員といろいろ管理シートの評価の審議を行いま

したが、その評価について、4段階評価に代わり達成度のパーセントも分かりやすく、記入しやすくなっていると思います。目安の内容説明が分かりやすいので、所管課としては簡易になったんじゃないかなと感じています。

ふらっと ねやがわに関して、発信力がどういうふうになればいいか、それから若い人の参加が少ない、高齢者の参加、それから熟年者の参加が多いということ、講座もふらっと ねやがわ関係の方に限定されているのはどうしてでしょうかという、そのような点ももっと考えていかないといけないかなということになりました。

それから、男性の意識を変えるために様々なことを発信していきたい。

また、マタニティクラスなどに、男性の参加人数が書かれてないのが疑問でした。男女比が書いてあるところと書いてないところがあるので、それも疑問になります。

リーフレットやPR関係についてですが、リーフレットの配付、評価が上がっているのかどうか、それが書かれてないという、B評価のところが多くありました。

それから57番のLGBT理解について、具体的な成果を、こういうことをしましたという事実だけじゃなくて、効果を、成果を書きいただきたいという意見がありました。

ふらっと ねやがわの利用者が減少している要因などの意見もありました。ふらっと 市民セミナーで男性参加者が0人があったり、男性の相談も年間で24時間、女性は442回ということで、男性相談、女性相談に大きな差がみられるにもかかわらずA評価なのは何故な

のかなど。

それから、事業に男女共同参画の視点はどのように入っていますか。事業関係の企業セミナーなど、いろいろありましたが、そういったところも少し考えただけならと思います。

ふらっと市民セミナーの参加者が少ないことに関して、若い人のニーズに合っていないのではないかという意見があり、ニーズをもう少し調査したほうが良いと思います。本当に若い方へ向けての情報発信をどのようにすればいいか、また大学側への御協力、働きかけも進めていけばいいのではないかという話になりました。以上です。

○委員長　それでは、グループの討議は以上にしたいと思います。皆様、ありがとうございました。

それでは、議題2「その他」に関して事務局説明願います。

○事務局　令和4年度第4回審議会で「若い人たちをターゲットにした男女共同参画の取組について」という議題で、委員の皆様から、様々な貴重なご意見をいただき、現在、事務局として、寝屋川市内の3大学等の学生等に向けて、寝屋川市が行っている男女共同参画に関する事業について知ってもらい・認識してもらうことを含めて、ふらっとねやがわでの男女共同参画に関するセミナーなどの講座情報等を一覧にしたチラシ配布に向け、チラシの作成校正中があります。また、チラシ配布の際には、各大学等での意見等の交換を行い、事業展開に向けた確認・調整をしてみたいと考えております。

まだまだ、大学生を巻き込んだリアルな運用までにはいたってはおりませんが、事業展開ができるよう、引き続き進めてまいりたいと

考えております。

○委員長　委員の方からは何かございますか。なければ、本日の会議はこれもちまして、閉会とします。